



学校だより

絆の草中

草野中学校 令和4年度第16号

令和5年2月24日

文責：校長 西田 英実

3年生 卒業へ向けて準備を進めています

2月24日（金）、3年生の卒業式の練習を行いました。今週から少しずつ練習が始まっています。正式には「卒業証書授与式」。3年間の教育課程をすべて修めた証として卒業証書が授与されます。卒業をお祝いするとともに、3年生は新たな旅立ちに向けて決意するとき。1・2年生も3年生に感謝すると共に、伝統を継ぎ発展させていく者として自覚を高める大切な儀式的行事です。是非、厳かな中にも感動がある式にしていきたいものです。

感染対策として、練習の回数や全校生が集まる場面をできるだけ少なく、その分集中してできるように進めて参ります。

進路実現に向けて、入試も、いよいよ県立高校の前期選抜・連携型選抜を残すのみとなりました。3年生はここまで十分、努力をしてきました。1・2年生もよい学習環境づくりを意識した生活をしています。試験ではこれらの成果を存分に発揮できるよう、体調を整えていくことがもっとも大切です。ご家庭でも健康管理について、今後ともご協力をお願いいたします。



1・2年生も学習のまとめをがんばっています

2月16日（木）、17日（金）には、1・2年生の学年末テストがありました。生徒たちは9教科すべてについて準備をし、本番の試験に臨んでいました。右の写真は本校伝統の「ラストスパートタイム」（昼休み）の様子です。分からないところは自分で、あるいは友だちや先生に尋ねて解決していました。

テストの反省も大切です。結果や点数だけに一喜一憂することなく、できなかったところを少しでもできるようにすることが実力向上の鍵です。自分の実態に合わせて復習するよう支援していきます。

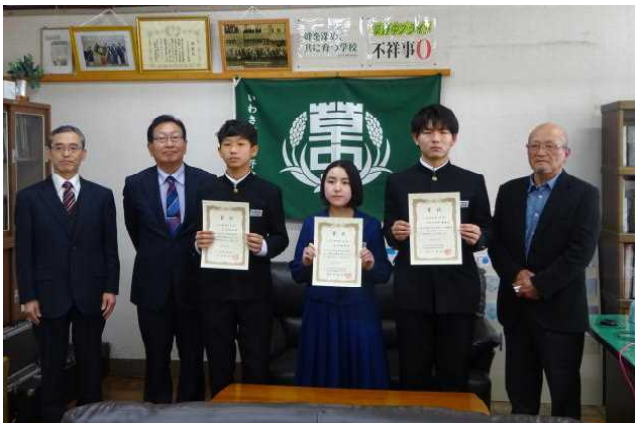


地域や各種団体から表彰をいただきました

2月17日（金）、生徒の努力と活躍を称えて、草野公民館と関連団体の皆様から表彰をいただきました。当日は、受賞生徒を代表して3年生3名が表彰式に臨みました。さらに、生徒全員への副賞なども多数いただきました。誠にありがとうございます。これを励みに生徒が活躍できるよう指導して参ります。

「社会を明るくする標語展」に本校生徒がふるって募集したことに対し、いわき市青少年育成市民会議平地区推進協議会草野支部様から学校表彰をいただきました。各学年金賞の標語は、本校の生徒昇降口に立派な看板となって掲示していただきました。草野公民館前には銀賞、銅賞の標語もあわせて掲示してあります。ぜひ、ごらんください。

「文化部門」において優秀な成績を収めた団体、生徒へは、同じく草野支部様から、「体育部門」において優秀な成績を収めた団体、生徒へは、いわき市草野地区体育協会様から表彰をいただきました。



朝の風景 落ち着いた学校生活のスタート

本校の良き校風として、落ち着いた中にも活発な生徒の活動があります。一日のスタートも、実に様々な生徒が活躍し、充実した学校生活の環境づくりができています。その一端を紹介します。

週番生徒による「挨拶運動」、清掃委員による「階段、昇降口清掃」、環境・安全委員会による庭の植え込み・草花への「水やり」、生徒会本部役員は教室前の廊下で「見守りとアドバイス」、保健委員は「教室の換気（窓開け）」など。そして、一人一人が早めに登校し、ゆとりをもって朝の読書や自習に励んでいます。

こうしたことが自然にできることがとても素晴らしいことです。今後も継続、発展していけるよう生徒を認め励ましていきたいと思えます。



生徒会委員会活動 反省と引き継ぎをしました

2月17日（金）に、生徒会各委員会の後期委員会活動反省を行いました。この日は、後期の活動を振り返り、残りの期間の活動改善へ向けて話し合いました。さらに、3年生が間もなく卒業することから、次年度当初の活動について話し合った委員会が多かったです。

どの活動についても、3年生は何を後輩に残し、後輩はどんなことを引き継いでさらに発展させていくのか。真価、進化、深化、、、さまざまなシンカがためされます。



<今後の予定>

日	曜	おもな行事
27	月	県立入試事前指導
28	火	放課後学習会(最終日)
3/1	水	SC 出役、部活動春も あり
2	木	卒業式練習1・2年、学校司書出役、ICT 支援員出役、テスト前部活動なし
3	金	県立高校入試(前期・連携)、3年弁当1・2年実力テスト、学校司書出役、部活なし
6	月	県立高校入試、3年弁当
7	火	県立高校入試、全学年弁当
8	水	卒業式練習、SC出役、ICT 支援員
9	木	卒業式予行、学校司書出役
10	金	卒業式会場作成、学校司書出役

<今週のことば>

◎「三寒四温」（日本の慣用語）

寒さと暖かさを繰り返しながら、少しずつ、温かい春を迎えていく、日本の春先の気候を表した言葉です。

2月に入り、文字通り、暖かい日が続くな、と体感しても、また寒い日に逆戻り、という周期が続いています。もともとは中国の厳しい冬の寒さを表した言葉ですが、日本では、春が近いことを表す言葉として使われています。

先週、草野小絹谷分校を通りがかったところ、早くも校庭の梅の花が咲いていて驚きました。確実に、「春」が近づいています。どの生徒にとっても気持ちが温くなる春が楽しみです。